

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報リテラシー論	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 Society5.0, データ駆動型社会, 第4次産業革命, AI, IoT, ビッグデータ「情報リテラシー論」(7回目)
	1-6 強化学習, 転移学習, レコメンデーション, AIAジェント, AIAシススタント, マルチモーダルAIA「情報リテラシー論」(11回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 栄養データ, 気象データ, アンケートデータ, 社会調査データ「情報リテラシー論」(3回目) ビッグデータ, オープンデータ, ログデータ, 構造化データ, 非構造化データ, 1次データ, 2次データ, メタデータ「情報リテラシー論」(8回目)
	1-3 生産, 消費, 文化活動, 流通, 製造, サービス, マーケティング, インフラ, ヘルスケア「情報リテラシー論」(10回目)
(3)様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 データの可視化, 散布図と回帰, 予測, クラスタリング「情報リテラシー論」(3回目) プロンプトエンジニアリング「情報リテラシー論」(6回目) 言語処理, 画像処理, 音声処理「情報リテラシー論」(9回目) マルチモーダルAIA「情報リテラシー論」(11回目)
	1-5 流通, 製造, サービス, マーケティング, インフラ, ヘルスケア「情報リテラシー論」(10回目) 課題抽出, 問題解決(13・14回目)

(4) 活用に当たったの 様々な留意事項 (ELSI、個人情報、 データ倫理、AI社会原 則等)を考慮し、情報 セキュリティや情報漏 洩等、データを守る上 での留意事項への理 解をする	3-1	ハルシネーション、フェイクニュース「情報リテラシー論」(6回目) ELSI、データ倫理、AI社会原則、データバイアス「情報リテラシー論」(12回目)
	3-2	SNS、パスワード、個人情報、炎上、個人の特定、プライバシー「情報リテラシー論」(4回目) パスワード管理、情報漏洩、サイバーセキュリティ、サイバー攻撃、暗号、情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「情報リテラシー論」(5回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社 会での実例を題材とし て、「データを読む、説 明する、扱う」といった 数理・データサイエン ス・AIの基本的な活用 法に関するもの	2-1	散布図と回帰、予測、クラスタリング「情報リテラシー論」(3回目) データの種類、データの分布と代表値、データのばらつき、相関と因果「情報処理基礎実習」(3～7回目)
	2-2	散布図と回帰、予測、クラスタリング「情報リテラシー論」(3回目) 相手に的確かつ正確に情報を伝える技術や考え方「情報リテラシー論」(13・14回目) 棒グラフ、折線グラフ、散布図、データの比較「情報処理基礎実習」(3～7回目)
	2-3	データの取得、データの集計、データの並び替え、ランキング、表形式のデータ「情報処理基礎実習」(3～7回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

AIの仕組みを理解し、適切に利用できる能力。 人びとの栄養や健康にかかわるデータの取り扱いや分析を、高い倫理観を持って実行するための情報リテラシー力。 本学の建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」を、データサイエンスで実現するための知識と技能の修得。

大学等名	日本栄養大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	日本栄養大学データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

取組の概要

日本栄養大学データサイエンス・AI教育プログラム



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 申請用

目的

建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」を、データサイエンスで実現するための基礎的知識と技能の修得。

開講科目の構成

講義2単位と実習1単位を通じ、データサイエンス・AIに必要な知識と技術を修得する。

栄養学部共通導入科目・入門科目
「情報リテラシー論」
「情報処理基礎実習」

身に付けられる能力

- ✓ AIの仕組みを理解し、適切に利用できる能力
- ✓ 人びとの栄養や健康にかかわるデータの取り扱いや分析を、高い倫理観を持って実行するための情報リテラシー力

修了要件

指定科目を修了すること。

実施体制

日本栄養大学データサイエンス教育運営委員会のもと実施する。学生による授業評価、就職先の意見等に基づく自己点検・評価を実施し、プログラムの維持・改善を行う。

